

授業科目名・形態	認知症ケア論 I	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	菅原 聡		実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

認知症に関する基礎知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。

【到達目標】

認知症の方を中心にして支援するというパーソンセンタードケアの考え方から、認知症ケアは、個別性を重視した生活支援型ケアが主流になってきている。さらに、認知症の方を社会で支えるために、住み慣れた地域で生活をしていくというサポート体制が創られつつある。様々な生活上の生きづらさをもっておられる方々の心身の状況を学び、ご本人の権利を護り、生活支援を含めたケアのあり方を学習する。具体的にはこれから行われる施設実習時に授業で学んだことを十分活用できるようになることを目標とする

【授業計画・内容】

- 第 1 回 認知症とは何か
- 第 2 回 脳のしくみ
- 第 3 回 認知症の人の心理
- 第 4 回 中核症状の理解
- 第 5 回 生活障害の理解
- 第 6 回 B P S D の理解
- 第 7 回 認知症の診断と重症度
- 第 8 回 認知症の原因疾患と症状・生活障害
- 第 9 回 若年性認知症
- 第 10 回 認知症の治療薬
- 第 11 回 認知症の予防
- 第 12 回 認知症を取り巻く状況 これまで 今 これから
- 第 13 回 認知症ケアの理念と視点
- 第 14 回 認知症当事者の視点からみえるもの
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

講義内容をしっかり理解し、予習ではなく復習に重点をおいて履修してください。これから行われる施設実習で軽度から重度の認知症の方と接しますので講義で学んだことを充分役立ててください

【主な関連する科目】

高齢者福祉論 地域福祉論

【教科書等】

最新 介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 中央法規出版

【参考文献】

必要時、資料配布 DVD 鑑賞

【成績評価方法】

筆記試験 80%、平常点 20%の総合評価とする

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

介護老人保健施設で介護主任として勤務し、相談室主任としてソーシャルワークを行い地域、病院、行政とも連携し、県の認知症研修の企画、講義、実習を行ってきた。その経験の体験、経験をもとに理想論でなく、実践論を学生に伝えたい。

【学生へのメッセージ】

毎日、認知症専門の施設で彼らと生活を共にしている実践者の授業です。認知症の方の心身の状況について共に学び、これからの社会がどうあるべきかを考えていきましょう。積極的な授業参加を期待します。